

広報 えびの

8

広報えびの 8月号
2010.August
No.526
平成 22 年 8 月 20 日発行



特集

ご利用ください。身障者・マタニティー用駐車場

(P 2～P 3)

ありがとう！夢をつないで 40 年記念事業の案内

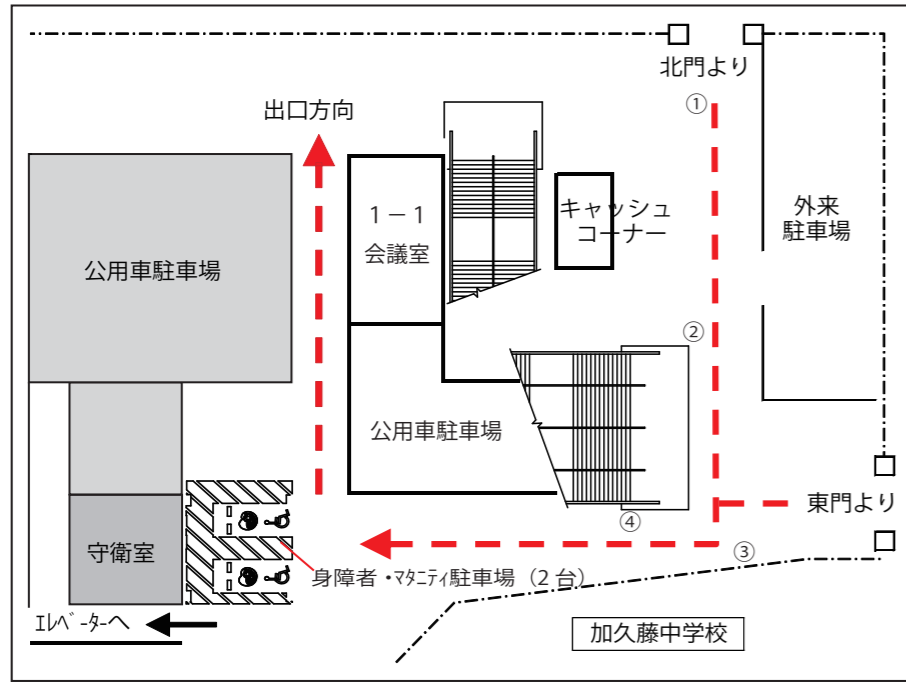
(P 4～P 5)

えびの市制施行 40 周年



ありがとう！
夢をつないで 40 年

身障者・マタニティー用駐車場案内図



ご利用ください
身障者・マタニティー用
駐車場

市 役所に新たに身障者・マタニティー用の駐車場を整備しました。身障者の方やマタニティー(妊婦)の方の負担を軽減するため、設置したものです。

場所(上記)は、市役所1階南側です。雨天時でも雨に濡れることなく車の乗り降りができます。

駐車場は、約45平方メートルで普通自動車2台が駐車できます。また、車いすでの行き来がしやすいよう、車の出入口に1.5メートル幅の余裕があります。エレベーターの設置場所にも近く、車いすに乗ったまま用事を済ませる事ができます。

足の不自由な方については、守衛室に車いすを常備しています。利用される場合は、お気軽に守衛室の職員に声をかけてください。

【お問い合わせ先】
市財産管理課施設車両係
☎ 35・1111 (内線347)

駐車場への順路

●市役所北側から利用の場合



①市役所北門を通過し、直進します。



②市役所正面玄関入り口階段手前のスロープ下を通過します。(身障者・マタニティー用駐車場案内板を設置しています。)



③身障者・マタニティー用駐車場案内板がありますので、案内板に従います。



④正面が守衛室となっています。その手前が駐車場となっています。



ありがとう！ 夢をつないで40年

昭和41年11月3日に、飯野、加久藤、真幸の3町が合併し「えびの町」が誕生。昭和45年12月1日に市制を施行しました。今年、えびの市は、市制施行40周年となります。市では、40年の節目を祝うために、さまざまな催しを行います。市民の皆さんのたくさんの参加をお待ちしています。

国際交流フェスティバル“食の祭典”

国際交流センターで、えびの市の特産品を用いた郷土料理を食べ、地産地消の関心を高めます。特産品のPRや食育にもつなげていきます。

【開催日】平成22年10月3日
【日】

田の神さあどり大会

収穫の喜びと感謝の気持ちを踊りで表現し合います。

場所は、文化センターです。同時に、もちつき大会等を行います。

【開催日】平成22年11月21日
【日】

田の神さあコンテスト

収穫の喜びと感謝の気持ちを田の神さあにふんずけることで表現し合います。

場所は、文化センターです。
【開催日】平成22年11月21日
【日】

出場者募集

田の神さあどり大会、田の神さあコンテストの出場者を募集します。

【応募要件】

○田の神さあどり大会
どなたでも参加できます。ただし、概ね5人以上のチームを組み、チームで申し込んでください。

○田の神さあコンテスト
どなたでも参加できます。

【申込方法】申込用紙に必要事項を記入し、ファックス、

または郵送、メールで申し込んでください。

申込用紙は、市企画課にあります。市ホームページからもダウンロードできます。

【申込期限】平成22年10月29日（金）

【その他】えびの音頭・田の神さあどりCDの貸し出しを希望する場合は、市企画課まで連絡ください。

市制施行40周年記念式典

40年の節目を祝い、先人の偉業をしのび、これからのえびの市の発展を祈念します。えびの市文化センターホールで、式典、市民表彰、アトラクションを行います。

【開催日】平成22年11月28日
【日】

タイムカプセルの埋設

10年後の成人式で市制施行の節目と自らの成人を祝うため、文化センター市民の杜にタイムカプセルを埋めます。

対象は、10年後に成人式を迎える市内小学生です。
【開催日】平成23年1月5日
【水】

記念植樹祭

市制施行40年の節目に、環境や水資源への意識を高めるために植樹を行います。

市中央部北山（高速道路から見える九州山地南端）に、サクラやカエデを植樹します。

【開催日】平成23年3月

男女共同参画フォーラムinえびの

講師に落語家笑福亭松枝氏を招き、男女が互いの人権を尊重し、だれもが個性と能力を発揮できる男女共同参画社会についての落語講演を行います。

場所は、文化センターです。
【開催日】平成22年10月31日
【日】

公用車ロゴマーク表示

公用車にロゴマーク入りのマグネットシートをつけ、市制施行40周年をPRします。

来年3月末まで行います。

着ぐるみ作製

田の神さあをモチーフとしたキャラクターの着ぐるみを作製しました。愛称は「みなほ」です。各種イベントに随時貸し出します。

貸し出しについては、無料です。使用する場合は、企画課振興係までお問い合わせください。



人権啓発標語募集

40年の節目に、市民1人ひとりが人権感覚を身につけ、人権を尊重することの大切さを深めてもらうため、人権啓発に関する標語を募集します。

対象は、一般、小・中学生です。作品の募集は、10月に行います。

入賞者については、平成23年1月23日「第20回人権を考える市民の集い」で表彰を行います。

お問い合わせ先
市企画課振興係
☎35-1111
(内線325)

市制施行40周年記念切手発売

市制施行40周年を迎える今年、えびの市制施行40周年記念フレーム切手が発売されます。

これは、加久藤郵便局（原山靖夫局長）が、市制施行40周年を迎えることから企画したものです。

フレーム切手には、えびの高原や矢岳高原など、えびの市の四季の風景の80円切手10枚がセットになっています。

1シートは1,200円で、1,000シートが発行されます。フレーム切手は、9月1日から、西諸管内の14の郵便局で販売されます。

【お問い合わせ先】
加久藤郵便局
電話 35-1342



01

今後の一貫教育を考える

市一貫教育講演会開催



一貫教育について講演する川崎辰美さん

一貫教育講演会が、8月3日、市内小中学校教職員、飯野高等学校教職員、保護者、教育関係者等、約170人を対象に市文化センターで行われました。

市では、えびの市学校教育5つの挑戦を軸に、21世紀を担う創造性豊かな意欲ある人づくり、個性とやすらぎのある地域づくりを進めています。

現在、小学校、中学校、高校の児童生徒の交流や教職員

の交流が活発になっていきます。市内でも小学校、中学校、高校が一緒になって、子どもたちを育てていく気運が高まっています。この講演会は、一貫教育に対する理解を深めることを目的に、市教育委員会主催で行われたものです。

講演会では、講師に、広島県立警固屋（けごや）中学校校長の川崎辰美さんを招き、「心を育て学力を向上させる小中一貫教育の実践」の演題で講演が行われました。

呉市は、えびの市と同じように、すべての中学校区で小中一貫教育を推進、9年間を見通した指導が行われ、さまざまな成果が出ています。

講演会で、川崎さんは、「学力向上を目指すのであれば、一貫教育は、あくまで手段で目的ではありません。小学校、中学校の良さをそれぞれで活かし、9年間を見据えて、前向きに、楽しみながら一貫教育を進めてください」と話していました。

■お問い合わせ先
市学校教育課教育係（内線 411）

02

年に1回は必ず健診を受けましょう

特定健診の集団健診を実施



飯野地区公民館での健診

市では、国民健康保険加入の方を対象に特定健康診査の集団健診を次の日程で行います。

健診は、毎年受け続けることで自分の体の状態を知ることができます。私たちの血管は体と同様に老化していきま

す。血管の老化（健康状態）は、健診を受けないと知ることができません。

病院にかかっている方や、平日は仕事で健診が受けられない方など、ぜひこの機会に集団健診を受けてください。

【集団健診日程】

- 実施日・会場 平成22年11月12日（金）、14日（日） 飯野健康センター
- 平成22年11月15日（月） 飯野駅前地区体育館
- 受付時間 午前8時～9時
- 対象者 国民健康保険に加入している40～74歳の方
- 申込方法 市健康保険課市民健康係に電話で申し込んでください。

※大腸がん・前立腺がん・肝炎ウイルス検査も同時に受診できます。

○申込期限 平成22年9月30日（木）

○注意事項

- ※定員になり次第、締め切り
- ※なお、申し込みが少な
- い場合は、日程の変更をお願いすることがあります。
- ※6月以降、特定健康診査や市の人間ドッグを医療機関で受けた方は受診できません。

■お問い合わせ先
市健康保険課市民健康係（内線 275・284）

03

県職員7人に併任辞令を交付

一歩踏み込んだ収納対策



辞令の交付を受ける県の職員

7月15日、市役所で県職員7人に、併任辞令が交付されました。

県と市が協力して、税の収納対策に取り組む「併任人事交流制度」は、今年で2年目を迎えます。

併任人事交流制度は、県職員が、えびの市から併任辞令の発令を受け、県と市の徴収事務に従事するものです。国の税源が地方に移譲されたことに伴い、市や県では自主財源の確実な確保のために、こ

れまで以上に税の収納を強化する必要があります。

併任人事交流制度では、県と市の税務職員が協力して、差押等の一歩踏み込んだ滞納処分を進めていきます。

県職員と市職員相互の徴収技術の向上を図り、税の収納率の向上と税収の確保を目指します。

市税の収納率は、平成21年度決算では、前年度比で、現年課税分が0・6ポイント、滞納繰越分が1・83ポイント

向上しています。しかし、市税全体の収納率は、県内他の市町村に比べ、極めて低い値となっています。

滞納額（現年課税分と滞納繰越額の合計）は、市税で約2億2千400万円あります。

税の滞納解消は、納期内に納税している市民との公正・公平性を確保するうえで、何よりも大切なことです。市では県と協力し、より厳しい姿勢で滞納の解消に努めます。

■お問い合わせ先
市税務課収納対策室（内線 212・215）

家庭教育学級通信

◎家庭教育学級の紹介



文化センターでの作品展示



第2和光幼稚園家庭教育学級長
杉本千恵美さん

私は、えびの市に来て今年で4年になります。幼稚園で、家庭教育学級というのを初めて知りました。何をするといいのかな、さっぱりわかりませんでした。そんな私が学級長をやってみようと思ったのは、家庭教育学級というものをもっと知りたかったからです。

今年度はまだ十分な活動ができていませんので、昨年度の実績を話します。

5月に「子育て」について話し合いました。子どもとのコミュニケーションのとり方、しかり方も感情的にならないように長所を見るようにすることなどを学び、ほめることの大切さをあらためて感じました。また、参加した方々の感想や経験談がたくさん聞けて良かったです。

視察研修は、県庁と平和台公園に行きました。施設の見学はもちろん、バスの中では、今まで話したことのない人と話ができて楽しかったです。その他ソフトテニスで汗を流したり、車いすやアイマスク体験をしたりして、充実した1年間を過ごしました。普段聞けない話が聞けたり、いろいろと体験できたので楽しかったです。そして何よりも同じ悩みを持つお母さんたちとの交流が、私の宝物になりました。



えびの
四季彩色
Seasons Color of Ebino

大太鼓踊り
「南方神社大祭」

写真：昨年弁財天池で奉納された大太鼓踊り

8月29日(日) 正午～
(会場：西長江浦上地区弁財天池・南方神社)
※弁財天池での奉納は午前10時から



えびの自慢のおいしい料理

◎今月一品
(昔ながらのお弁当)

し し び

煮しめ
【材料】
ゴボウ、シイタケ、大根、ニンジン、
コンニャク、さつま揚げ(棒天)、昆布、
ざらめ、塩、みりん、しょうゆ

【作り方】
煮しめ
①ゴボウ、ニンジン、大根を皮むきし、
長さを切りそろえて、面取りをする。
②昆布を水に湿し、適当な長さで結び
目を作る。
③シイタケを水に浸す。浸した水は、
だしとして使う。
④コンニャクは、適当な大きさに切り、
塩もみする。
⑤鍋に水を入れ、シイタケのだし汁を
加え、ゴボウ、大根、ニンジン、コンニャ
ク、昆布を入れ、煮る。
⑥大根、ニンジンが煮えたら、しょうゆ、
ざらめ、みりんを加え味を調え、最後
に塩を加える。
⑦さつま揚げ(棒天)を最後にいれ、
ひと煮立ちさせる。

recipe

釜炊きご飯のおにぎり、煮しめ、卵
焼き、空揚げ、がね(サツマイモの天
ぷら)を竹の皮の弁当箱で包んだふる
さと料理です。
竹の皮は、保水力・殺菌性に優れ、
腐りにくく、乾燥しにくいのが特長で、
弁当箱にはうってつけです。

今月紹介するのは、真幸中学校の生
徒16人と更生保護女性の会真幸支部の
方たちで作った「昔ながらのお弁当」
です。



【紹介者】
真幸中学校生徒16人と
更生保護女性の会真幸支部のみなさん

えびのののの
つまがもん
「えびのうまいもの」
vol.28



アトリエで絵を描く入江さん

入江万理子さん

絵を見た人に 勇気と元気を与えたい

Mariko Irie

いりえ・まりこ / 28歳 / 水川区 // 趣味は、絵を描くこと（暇があれば絵を描く）、買い物

「絵をもっと描きたいと思
い今年の3月にえびのに帰っ
てきました」と話すのは、入
江万理子さん（水川区）です。
入江さんの絵は油彩です。
部屋等をイメージした華やか
な背景に、イスやベッド等の
家具が融け込むように配置さ
れた幻想的なものです。入江

さんは、「見た人が和むよう
に身近なものを題材にしてい
ます」と話します。使用する
キャンバスは、縦横160セン
チと大きいものです。
入江さんが絵を好きになっ
たのは、小学生の時に描いた
絵で賞をもらったのがきっか
けです。その後、絵の勉強が

したいと、広島で美術
を学びました。国展（国画会
主催の展覧会）にも出展し、
これまでに入選を数回してい
るほどの腕前です。今では、
年数回個展を開いています。
入江さんは、「絵を描いて
る途中、ひらめいて思った以
上の絵が描ける時がとてもう

れしいです」と話します。
今後の夢を聞くと「えびの
で個展を開きたいと思ってい
ます。私の描く絵は大きく、
なかなか個展を開ける場所が
ありません。個展を開ける場
所があれば、個展を開き、え
びの市の皆さんに私の絵を見
てもらいたいです。

今は、部屋などの絵を描い
ていますが、今後は、えびの
の自然豊かな風景なども描き
たいです」と話していました。
入江さんの作品は、9月15
日から27日に湧水町のいきい
きセンターの郷で開かれ
る個展で見ることができま
す。

がんばる！公民館

区民のいこいの場所 として

（西内堅自治公民館）

西内堅地区は、えびの市最
西端に位置する集落です。
今から38年前の昭和47年7
月6日に発生した山津波に
よって一瞬のうちに集落がの
み込まれました。当時140
あった世帯が、家が流され住
み慣れた古里を出て行った人
たちもいて、今では47世帯92
人となりました。地区でも高
齢化が進み、60歳以下が10人
で、その内子どもは高校生と
2歳児の2人です。

西内堅地区には、たくさん
の宝物があります。日本三大
車窓を誇るJR薩肥線は、開
通100年を迎え、木造駅舎
の真幸駅があります。また、
日本棚田100選の1つの真
幸棚田があります。あの恐ろ
しかった山津波にも負けず
やってこれたのは、この自然
が地域活動の原動力になっ
ているからです。

特に真幸駅周辺の環境整備
には積極的に取り組んでいま
す。春には菜の花・秋にはコ
スモスがたくさん咲いてとて
もきれいです。地元自治活動
のたゆまぬ協力が大きな礎に
なっていると自負していま
す。

西内堅地区は、高齢化が進
み限界集落だとの懸念もあり
ますが、現在の住民とともに、
希望ある明るい地域として西
内堅地区を盛り上げて行きた
いと思います。



西内堅
自治公民館長
鶴田守さん



真幸駅周辺環境整備

◎自公連だより

※自公連・・・「自治公民館連絡協議会」の略称。

ジオパーク発掘調査隊

その11

今月は小林市にある
「炭化木」と高原町にある
「矢岳」を紹介します。

■炭化木

新燃岳の周りでは、「炭
化木」と呼ばれる立ち木の
まま炭になってしまったモ
ミやツガがたくさん見つ
かっています。

昔、新燃岳の麓には豊か
な森がありました。しかし、
1716〜1717年にか
けて新燃岳の大噴火が起こ
り、火砕流が森に押しよせ
てきました。火砕流があま
りにも高温であったため、
その際、埋まってしまった
樹木はそのまま炭になりま
した。長い年月が過ぎ、雨
などによって地面が削られ



炭化木



炭化木のイラスト

■矢岳

矢岳（1132m）には
ヤマツツジが群生していま
す。5月から6月にかけて
花が咲き誇り、ピンクや赤
の鮮やかな混彩を築しむこ
とができます。頂上では古
木に群生している巨大なヤ
マツツジが咲き、登山者を
驚かせます。ミカエリソウ
やコウモリソウなどの珍し
い植物も多く群生していま
す。

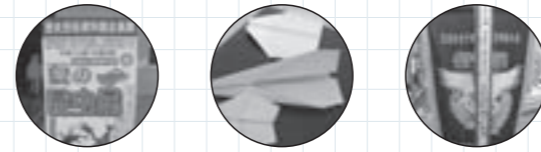
○高原町まちづくり推進課
☎4212111



ヤマツツジ

まちのわだい

10'08 Ebino City Topics



見て、触って夏の昆虫展



標本に見入る来場者

夏の昆虫展が、7月23日から市歴史民俗資料館で行われていました。昆虫展では、ヘラクレスオオカブトやコーカサスオオカブト等海外の標本が展示されています。国内のカブトムシやクワガタと触れあえるコーナーでは、訪れた子どもたちがカブトムシやクワガタと触れ合っていました。祖母と訪れた内窪君は、「カブトムシは、かっこよかった。うまく捕まえる事ができた」と満足げに話していました。この昆虫展は、8月28日まで開催されています。

見違える有形文化財



めがね橋の草刈りを行う地区の方

7月25日、国の有形文化財に登録されている「めがね橋」と「享保水路太鼓橋」の草刈り作業が行われました。草刈りには、下大河平地区の有志約20人が参加し、背丈ほど伸びた草が刈られると、見違えるようになりきれになりました。下大河平区長池田満次さんは「毎年、年3回、作業を行っています。地区での高齢化が進む中、参加者の確保や急傾斜での作業など心配することもあります。しかし、地域の宝を守り後世に引き継ぐために心を一つにしてがんばりたい」と話していました。

戦後初の牛越祭り



雨の中行われた神事

7月28日、西川北菅原神社で牛越祭りが行われました。今年、口蹄疫の影響で牛たちの勇敢なジャンプはなく、神事のみが行われました。400年以上の歴史を持つ牛越祭りでしたが、神事のみ行われるのは戦後初です。西川北区長白坂重之さんは、「今年、悲しくて仕方ありません。西川北から口蹄疫を出さなかったのは、牛越祭り保存会の青年部、消防団、地区の方の協力があってからこそです。来年は、2年分の牛越祭りを行いたい」と話していました。

地域での支え合い



体操を楽しむ参加者

7月29日、池島地区公民館でふれあい活動が行われました。65歳以上の1人暮らしの高齢者等、16人が参加しました。参加者は、柔軟体操後、レクリエーションや頭の体操などを行って過ごします。地区のボランティアの方が作った昼食を食べ、参加者同士会話を楽しんでいました。この事業は、市が社会福祉協議会へ委託した事業です。地域の公民館を拠点に毎月1回行われています。口蹄疫の非常事態宣言が解除され、池島地区公民館から再開されました。

手作り弁当を給食に



弁当を食べる前にみんなに披露

7月12日、真幸中学校で「子どもが作る弁当の日」が行われました。この日の給食はなく、代替に自分で作った弁当が給食となります。子どもが作る弁当の日は、弁当を自分で作ることで親子のふれあい、父母への感謝、自分でできることを見つけて実践力の定着を図ることを目的に行われました。真幸中学校の緒方俊郎校長は、「8月に生徒を対象に料理教室を行います。10月までには、生徒全員が自分で弁当を作れるようにしたい」と話していました。

元気に優勝報告



岡元小学校の児童4人と市長、教育長

7月16日、岡元小学校の藤嶋智夏さん(6年)、坂下春夏さん(6年)、黒木舞さん(6年)、坂下亮太さん(5年)が市長を訪問。第39回交通安全子供自転車宮崎県大会での優勝を報告しました。代表して6年坂下春夏さんが、「えびの市が口蹄疫で暗くなっているのを感じて、優勝の話題で少しでも明るくなってもらいたいと思います。がんばりました」と優勝の報告をしました。この大会は、自転車の交通安全と運転技術の向上を図り、交通事故防止に役立てる目的で、毎年行われています。

いざ、テイクオフ



紙飛行機を飛ばす子どもたち

7月25日、市民図書館で「飛ばしてみよう紙飛行機」講座が行われました。参加者した親子34人は、紙ヒコーキの種類と折り方の説明を受けました。紙ヒコーキの種類は、「へそ飛行機」、「やり飛行機」、「スカイキング」等があります。1番人気は、「スカイキング」でした。参加者は、思い思いの紙ヒコーキを作り、飛ばしていました。お母さんと参加した飯野小学校2年中島葉奈さんは、「うまく作れました。折り方は簡単でしたが、飛ばし方が難しかった」と話していました。

information

お知らせ コーナー

・お知らせ・

知っていますか？守っていますか？宮崎県屋外広告物条例

宮崎県は、郷土の美しい自然や街並みを守るため、「宮崎県屋外広告物条例」を定めています。毎年9月1日から10日までは、「屋外広告美化旬間」です。

皆さんのご理解とご協力をお願いします。

○「屋外広告物」とは、はり紙や店舗の看板、道路沿いの広告版など、建物の外に表示・設置している広告物のことをいいます。

○店舗の看板など屋外広告物を出すときは、原則として許可が必要です。

○美しい風景を守るために、屋外広告物の表示や設置ができない場所（地域）があります。

※詳しいことは、最寄りの土木事務所にお問い合わせください。

☎ 小林土木事務所
☎ 23-5165

地上デジタル放送に関する悪質商法にご注意ください。

全国的に地上デジタル放送対応に係る悪質商法が発生しています。

今後、2011年7月のデジタル完全移行に向けて悪質商法が増加することが予想されます。

下記に不当な金銭の請求事例

を掲載していますのでご注意ください。

【事例1】

「総務省から派遣されてやって来た。地上アナログ放送が10年間延長できる工事を3,000円です」と勧誘された。

○アドバイス

「行政機関、放送事業者が地デジ対応の工事を理由に現金を要求することは一切ありません。また、地上アナログ放送は2011年7月に終了します。」

【事例2】

総務省と名乗るセンターからやってきたと、業者が事前の連絡なく訪問してきた。アドバイ斯拉しきものやアンケートを受けたが、最後に費用を請求された。

○アドバイス

デジサポ（総務省テレビ受信者支援センター）によるご相談等は無料で実施しています。また、デジサポの専門家による各世帯の戸別訪問は、事前に電話でご連絡の上、実施しています。

☎ デジサポみやざき

☎ 0985 - 68 - 2211

☎ 市企画課情報係
(内線 451)

こころの相談などのご案内

小林保健所では、下記相談を行います。

◎自死遺族のつどい

大切な人への思い出を、同じ立場、様々な思いを抱えた方々とともに語り合い、分かち合う場として行います。

【参加対象者】大切な人を自死（自殺）で亡くされた方

【開催日】9月25日（土）

【開催時間】午後1時～午後3時

【開催場所】小林保健所

※事前予約は不要です。

◎専門の医師によるこころの健康相談

不安やイライラが強い、気分が沈む、眠れない・・・などの相談を行います。

【開催日】9月28日（火）

【開催時間】午後1時30分～午後3時30分

【開催場所】小林保健所

※相談無料、事前に予約が必要です。

◎アルコール家族教室

家族がアルコール依存症で、悩んでいらっしゃる方などの相談を行います。

アルコール依存症について学び、自分自身の幸せな生き方について、みんなで話し合ってみませんか。

【開催日】9月14日（火）

【開催時間】午後1時30分～午後3時30分

【開催場所】小林保健所

☎ 小林保健所

☎ 23 - 3118

ご利用ください。プレミアム付商品券

市では、こうていえき口蹄疫復興対策の1つとして、市内の消費拡大と地域経済の振興を目的として2割分のプレミアムが付いた商品券補助事業に取り組みます。

【販売価格】1セット10,000円（1,000円券×12枚）

【販売場所】えびの市商工会、市役所、市飯野出張所、市真幸出張所

【販売期間】平成22年9月10日（金）までの平日

【販売時間】午前10時～午後3時

【使用期限】平成22年12月31日

【注意事項】・商品券購入は、1

世帯あたり50,000円（5セット）までとなります。

・土、日、祝日の販売はありません。

・商品券の販売は、完売となり次第終了となります。

☎ えびの市商工会

☎ 35-1544

☎ 市観光商工課企業誘致・商工対策室
(内線 333)

・募集・

市民表彰、市制施行40周年記念団体表彰候補者募集

市では、えびの市表彰条例に基づき、本市の振興発展および市民生活の向上等に尽力され、その功績が顕著な方々を表彰します。今年度は、市制40周年を記念して団体表彰も行います。

表彰候補者の推薦をお願いします。

【対象および表彰の種別】次の

①～⑤に該当し、市民表彰候補者の年齢が原則として75歳以上の方とします。ただし、特例的なものはこの限りではありません。

①地方自治の進展に貢献した方または団体

②産業経済の発展に貢献した方または団体

③教育、芸術、体育、その他文化の進展に貢献した方または団体

④公共の福祉に貢献した方または団体

⑤市民生活の向上、社会道徳の高揚に貢献した方または団体

【表彰式】平成22年11月28日（日）市制施行40周年記念式典

【推薦方法】市企画課秘書係に用意してある功績調書を提出してください。

【応募締切】平成22年9月30日（木）

☎ 市企画課秘書係
(内線 302)

金婚式を迎える皆さまへ

今年、金婚式を迎える方はいませんか。

市では、結婚50周年を迎える皆さんを招待し、「金婚祝賀会」を下記のとおり開催します。多数のご出席をお待ちしています。

【開催日時】平成22年11月5日（金）

午前10時～（受付：午前9時～）

【会場】市文化センター

【対象者】昭和35年に結婚された方

【申込方法】市長寿介護課まで電話で申し込むか、2人の氏名・住所・電話番号を記入したハガキで申し込みください。

【申込期限】平成22年10月8日（金）

〒889 - 4292 えびの市大字 栗下1292

市長寿介護課長宛

☎ 市長寿介護課高齢者係
(内線 268)

119 だより



不適正な利用はご遠慮ください

えびの市管内の救急出動件数は、10年前と比較して221件増加し、平成21年中は772件の救急出動となりました。

出動件数の増加や、他市への搬送などで救急車が救急現場へ到着する時間が遅くなる傾向にあります。（えびの署の救急車が出動している場合は小林市から出動します）

えびの市では1台の救急車が昼夜を問わず稼働していますが、近年明らかに緊急性が低いと思われる要請も少なく、不適正なケースも見受けられます。不適正な救急車の利用は、緊急性があり本当に救急車を必要としている人に対して、適切な救命処置が遅れ、救える命が救えなくなる心配があります。

市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

7月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	1件	年計	5件
	救急	53件	年計	380件

■えびの消防署 ☎ 33 - 6119

110 だより



飲酒運転根絶運動実施中

宮崎県内では、平成22年7月までに交通事故で31人の人が亡くなっています。その内の3人は飲酒運転がらみの交通事故によるものです。

飲酒運転をして交通事故を起こすと、逮捕、高額な罰金、運転免許の取り消し等の処分が待っています。飲酒運転を自分がしないことは当然ですが、

- ・車の運転手に酒類を提供すること
- ・飲酒運転の車に同乗すること
- ・飲酒している人に車両を提供すること

等も、飲酒運転者と同罪になります。

市民一丸となり、えびの市から飲酒運転を根絶しましょう。

7月の交通事故発生状況	人身	8件	年計	65件
	物件	33件	年計	178件

■えびの警察署 ☎ 33 - 0110

心の一首一句

短歌

熊蟬は鎧の武者かこの森を
決戦場と炎して鳴く

上浦区 藤井猪徳

熊蟬は日本のセミ類中最大で四・五センチ黒色で翅は透明で緑色の翅脈を有し、盛夏の頃「しゃあしゃあ」と喧嘩と言えぬ鳴き声はまるで樹林の中は決戦場の様である。数年を地中で生き、地上では七日の儚い命を懸命に生きるものの終の詠であるとして作者は人生を重ねて思うのである。秀歌と言いたい。

(評) 竹下妙子

俳句

一閃のかくも重たき原爆忌

白鳥区 中堀ふじ子

この夏、友人たちと長崎旅行に行きました。その際、初めて爆心地に行く機会がありました。まだ長崎原爆の日よりもだいたい前でしたが訪れる人の群れは絶え間なく、特に外国人が多いようでした。戦後生まれの私には伝えて聞くことでしか戦争の悲惨さ、原爆のむごさを知ることができません。だからこそこの年齢になるまで戦争を体験しなかった幸せを子どもたちの世代にもつなげたいと思っています。

(自註)

詩

「夏が来た」

山下常昌

空が真っ青になった
雲が白く輝いた
日差しは強いのに
海から乾いた風が吹いて来る
キュウリを噛みながら
はだしで駆けて行った
少年の頃
あの日と同じ夏が来た

あなたもつくってみませんか。

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 0984 - 37 - 3056

(俳句) 阿野文雄さん ☎ 0984 - 37 - 1653

(詩) ポエム同好会 (市田寛幸さん) ☎ 0984 - 37 - 2528 まで。

ありますか、好きだと言える一冊が。

おすすめの 一冊



『くじけないで』

柴田トヨ / 著
(飛鳥新社)

「あと少しこっちに居るわ。やり残したことがあるの」もうすぐで百歳になる柴田トヨさんの処女作品集。テレビでも紹介され話題になりました。みずみずしい感性でつづられた詩には、キラキラと輝く生の言葉が溢れ、いい風に吹かれたみたいに爽やかな気分になります。

「私しっかり生きてます。あなたもくじけないで」やさしく微笑むトヨさんに、肩を叩かれた気がする、そんな一冊です。

BOOK CORNER

■推薦：市民図書館

Editor's

◎編集後記

今月、図書館の「飛ばしてみよう紙ヒコーキ講座」取材に行きました。子どもたちが紙ヒコーキを飛ばす一生懸命な姿は、幼少時代、紙ヒコーキを作り飛ばしていた時を思い出し、自分にもあんな無邪気な時があったんだよなと感じさせられました。また、紙ヒコーキの種類の数々にも驚きました。

非常事態宣言解除後、各地区でのイベント等が行われるようになってきたのではないかと思います。地区でのイベント情報等ありましたら、お気軽に連絡ください。

◎えびの市の人口

男性 / 10,070 人 (-16人) 転入 / 60人
女性 / 11,443 人 (+2人) 転出 / 62人
合計 / 21,513 人 (-14人) 出生 / 10人

◎えびの市の世帯数

9,192 世帯 (-5 世帯) 死亡 / 22人

(平成22年8月1日現在)

今月の
納税

市県民税 第2期
国民健康保険税 第2期
8月31日までに納めましょう。

いきいき!健康

Let's Lead A Healthy Life!

脳を休ませていますか?

脳を休ませて、うつ病を予防しましょう!

■鞍津輪保健師 (健康保険課)



物忘れが少しでも増えると、計算ドリルなどの「脳トレーニング」グッズでボケないように脳を鍛えなければならないと思いませんか?

しかし、ストレスによる物忘れの場合は、オーバーヒート手前の車のエンジンみたいなもので、決して鍛えてはいけません。そんな時は、いったん車を止めてエンジンをさますように、脳を休めましょう。もし、ここで無理をすると心をリラックスさせる脳内物質セロトニンが少なくなり、不眠になったり、気分が極端に落ち込み、生きる意欲さえなくなったりします。これがいわゆる「うつ病」です。

身体を動かさないでいると、ストレス反応は身体の中に次第にたまっていきます。交感神経の興奮やストレスホルモンの分泌が続き、つい

には高血圧や高血糖を引き起こします。

脳を休ませるためには、まず、身体を動かすことです。体を動かすことで体にたまったストレスを帳消しにしてくれます。

アロマセラピー・森林浴・朝日を浴びながらの散歩・余計な雑音のない環境・お風呂・腹式深呼吸・会話等を楽しみながらリラックスしておいしい食事をとることなども脳を休めます。

日本人は「和をもって尊しとなす」という言葉があるように 狭い国の中で秩序を守るため、よそ者や変わり者を排除してしまいがちといわれます。それがストレスをためこんでしまう原因の1つともいわれています。時には、自分の周りとは大きく価値観の異なる人や環境に身をおいて脳を休ませましょう。

参考文献:「脳は鍛えるな!」酒谷薫著

男女共同参画だより

「メディア・リテラシー講座」

先月、真幸中学校の1年生(42人)を対象にしてメディア・リテラシー講座「自分をすきになるためにメディアを読み解く力をつけよう」を開催しました。

生徒たちは、同世代がよく見る雑誌や漫画の人物像を何枚も切り抜いて模造紙に貼り付け、メディアが発信する男性像・女性像(容姿)を分析し、グループごとに発表。「男の人は眼鏡をかけているが、女の人はかけていない」「女の人はスカートを着ている人が多い」「女の人は笑顔だが、男の人は笑っていない」などと分析していました。

講師の高崎恵氏(オフィスビュア)は、「周りと比較して『違う』こと(もの)を排除する(仲間に入れられない等)のではなく、『違い』からの発展や、『違い』を尊重するということ」「比較するのは『自分(過去の自分)』であり、自分を大切

にする人が他人を大切にできる人であるということ」「他人を否定せず、I(アイ)メッセージ「私は〜と思う、あなたは…」で対話すること」を生徒たちに伝えていました。

生徒たちは講座終了後「男女の区別・差別をせず、人権について普段の生活の中でも生かしていきたい」「性別に関係なく1人ひとりを大切にすよりよい社会になればいい」などの感想文を提出してくれました。「男性は、男らしく〇〇に」「女性は、女らしく〇〇に」とよく言われますが、『自分らしく』を大切にしたい、自分を見つめ直し、何事にも自分らしく過ごせる社会づくりをえびの市は推進します。



貼り付け作業を行う生徒

ふるさと散歩

Furusato-sanpo

142

あつかござん祭りと秋葉神社



新町公園と島津義弘、地区民ゆかりの秋葉神社

飯野麓区には、「あつかござん祭り」正式には、「秋葉講様祭り」が伝えられています。

秋葉神社を祭り地区の無病息災を祈る行事です。秋葉講祭りの「講」というのは、寄り合いのことです。毎年一月一七日ごろに行われています。

島津義弘が慶長十年（一六〇六年）十月五日に天竜川で川留めにあった際、静岡の秋葉神社【注一】に参詣しました。（静岡県豊橋市の資料館「三川宿本陣」に記載されています）義弘は参詣した時にもらったお守り札を、飯野城の三の丸の一角の祠に奉りました。その後、四〇〇年間、地区の安全と息災を祈る行事が続けられてきました。

た。この行事が、「あつかござん祭り」です。

今から一六一年前、嘉永二年（一八四九年）五月には、麓の代表五人が遠州の国（今の静岡県）の秋葉神社に参詣しています。（朝稲家宅の古文書に記載されています）しかし、どのようないきさつで、秋葉神社を参詣したのかはわかっていません。

平成七年七月七日に祖先の方々の思いを後世まで残す意味で、飯野の町に新町公園と島津義弘と地区民のゆかりの秋葉神社が建てられました。

秋葉神社の横には、首切り地蔵が安置されています。約四〇〇年前、義弘が球磨御前

（辺川御前）の死を弔うために保寿院を建てました。保寿院の御本尊は阿弥陀如来で、仏像は、球磨御前の顔に似せて造らせたといわれています。

明治元年三月一七日、廃仏毀釈令が出されました。この時、首を切られた仏像は埋められました。後に、この仏像は掘り出され、現在の場所に安置されたものです。

【注一】静岡県秋葉山本宮秋葉神社は、正式な社号は、「秋葉山本宮、正一位秋葉神社」と言います。「秋葉の火祭り」は有名です。祭神は、「火の神」で「火之迦具大神」と言われています。

（文／市歴史民俗資料館）